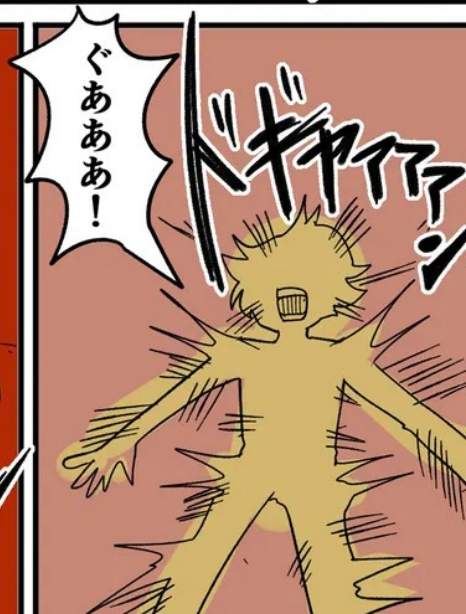
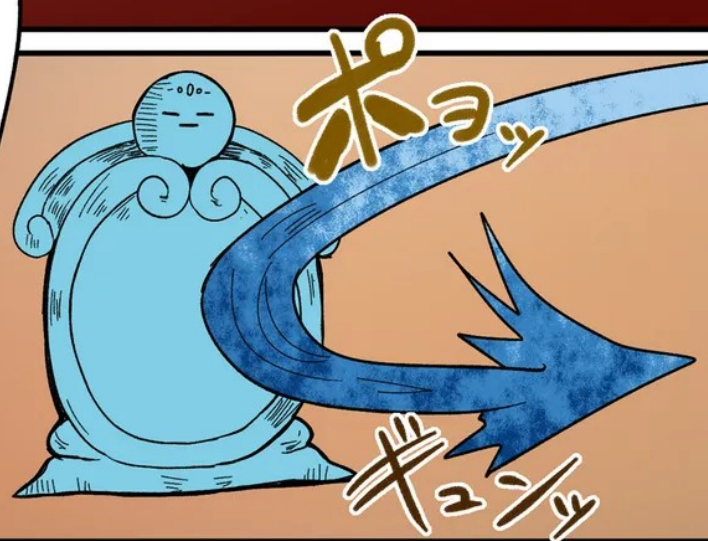




茶畑ヴァエの
T S 短篇集 2



その攻撃を
全て跳ね返すわ







くっ…

こんな姿にして…
何がしようって言うんだ…!!

あなたには
私のカードに
なってもらうわ

そうはさせるか!
そのカードを寄越せ!



数日後



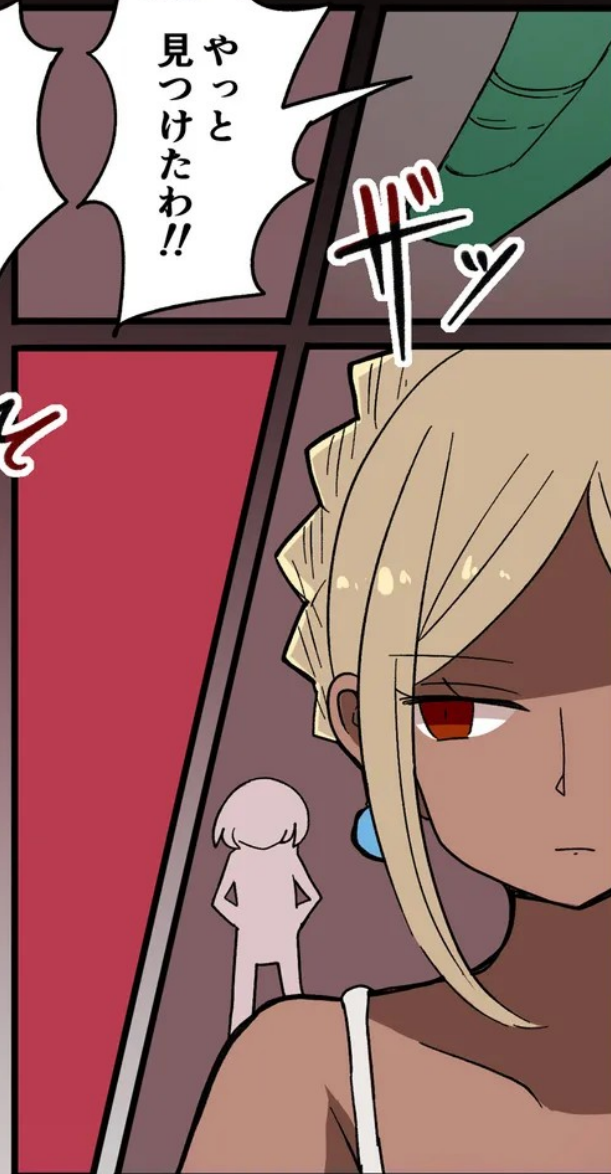
やっと
見つけたわ!!

コリーに
何をしたの!

ザッ

ヒッ

あんととの
デュエル以来
行方不明なのよ!



望むところ……!

私に勝てたら…
いや私と闇のデュエルを
したら教えてあげられるかも





ふふ
そろそろ
コリーに会わせて
あげましょうか

はあはあ…
この女…強い…

え…

「妖精姫コリー・シー」を召喚!

!?

あなたのお友達は
私のクリーチャーに
なったの

可愛い妖精サンのね

そんな…
ウソでしょ…
コリー!

ご主人様

あの子はだあれ?

アタシ知らない

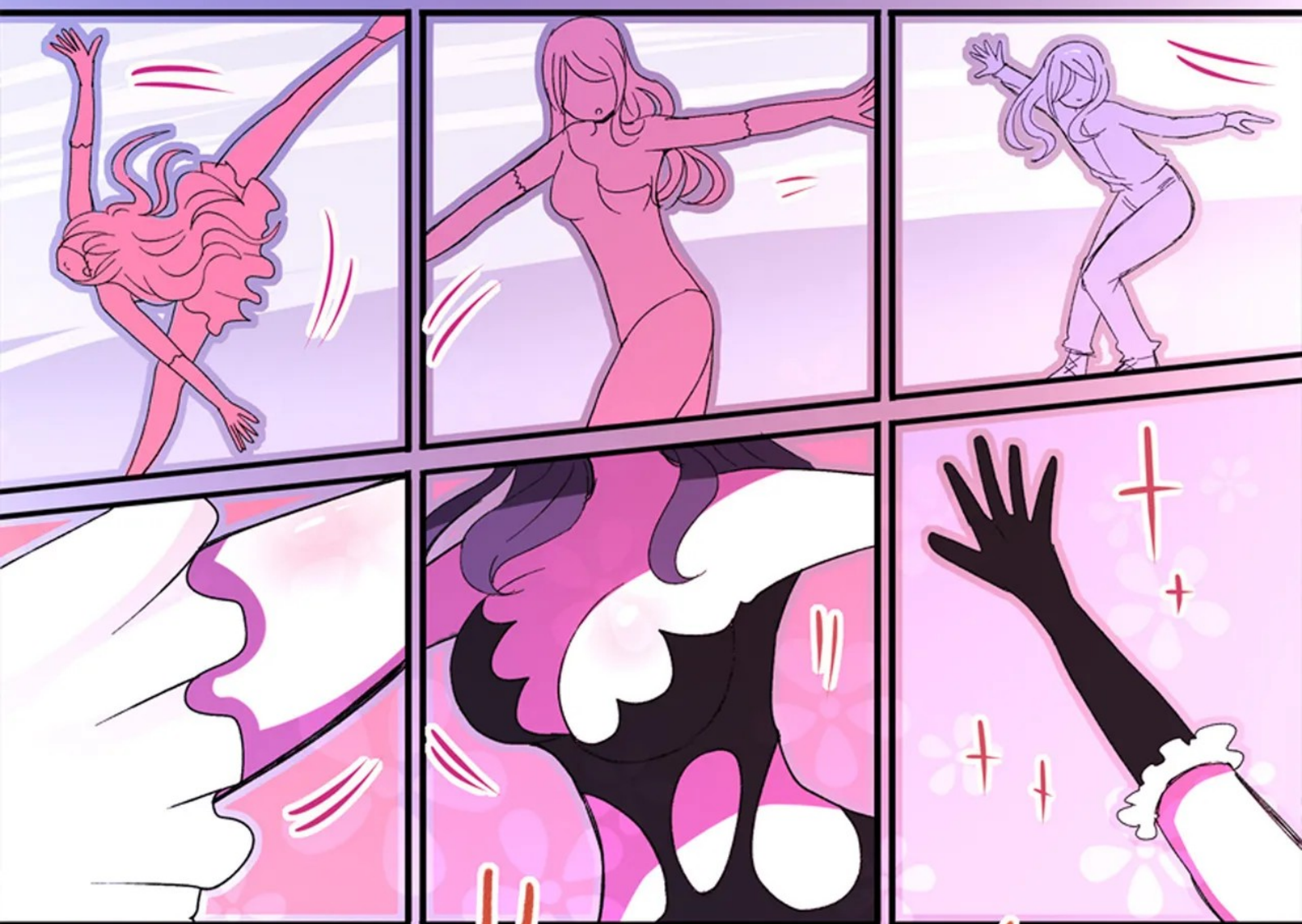
嘘でしょ…

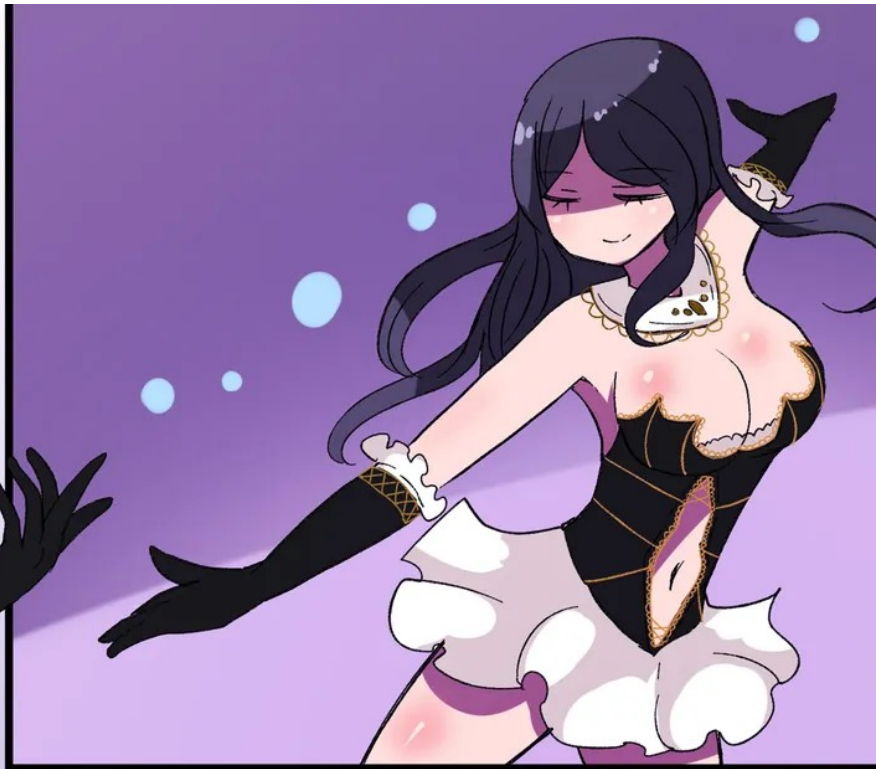
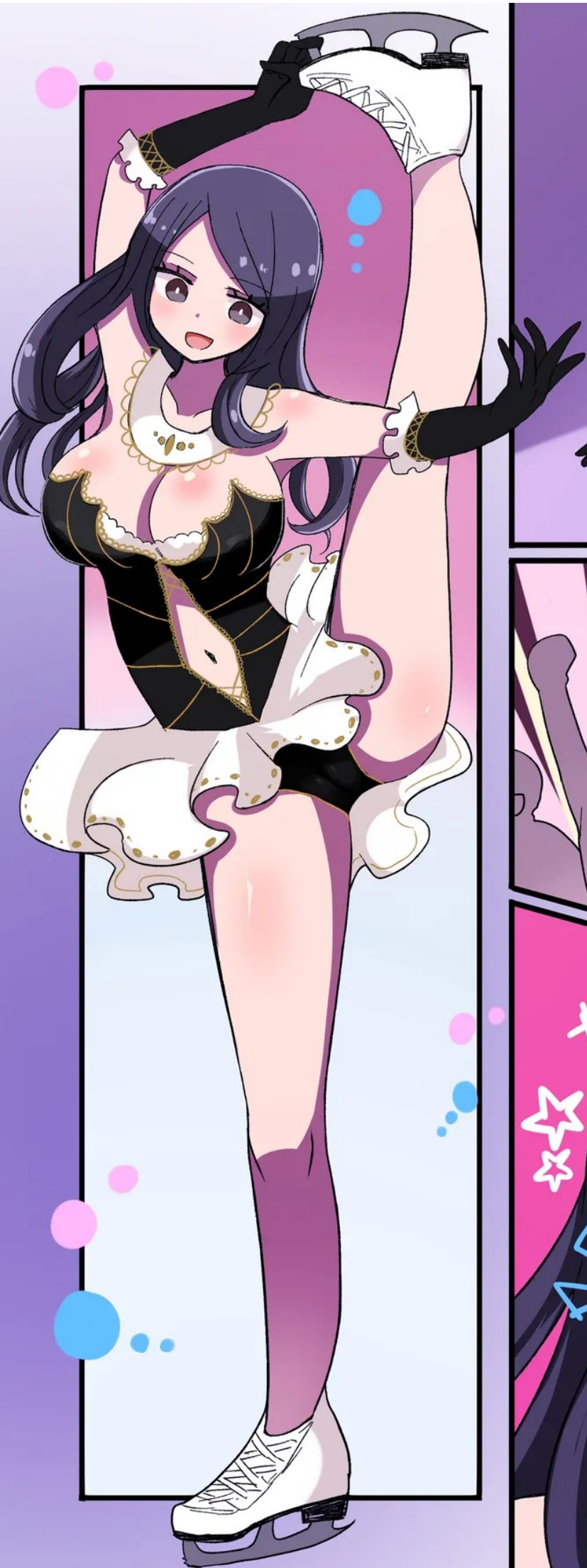
ガクッ

クスクス...

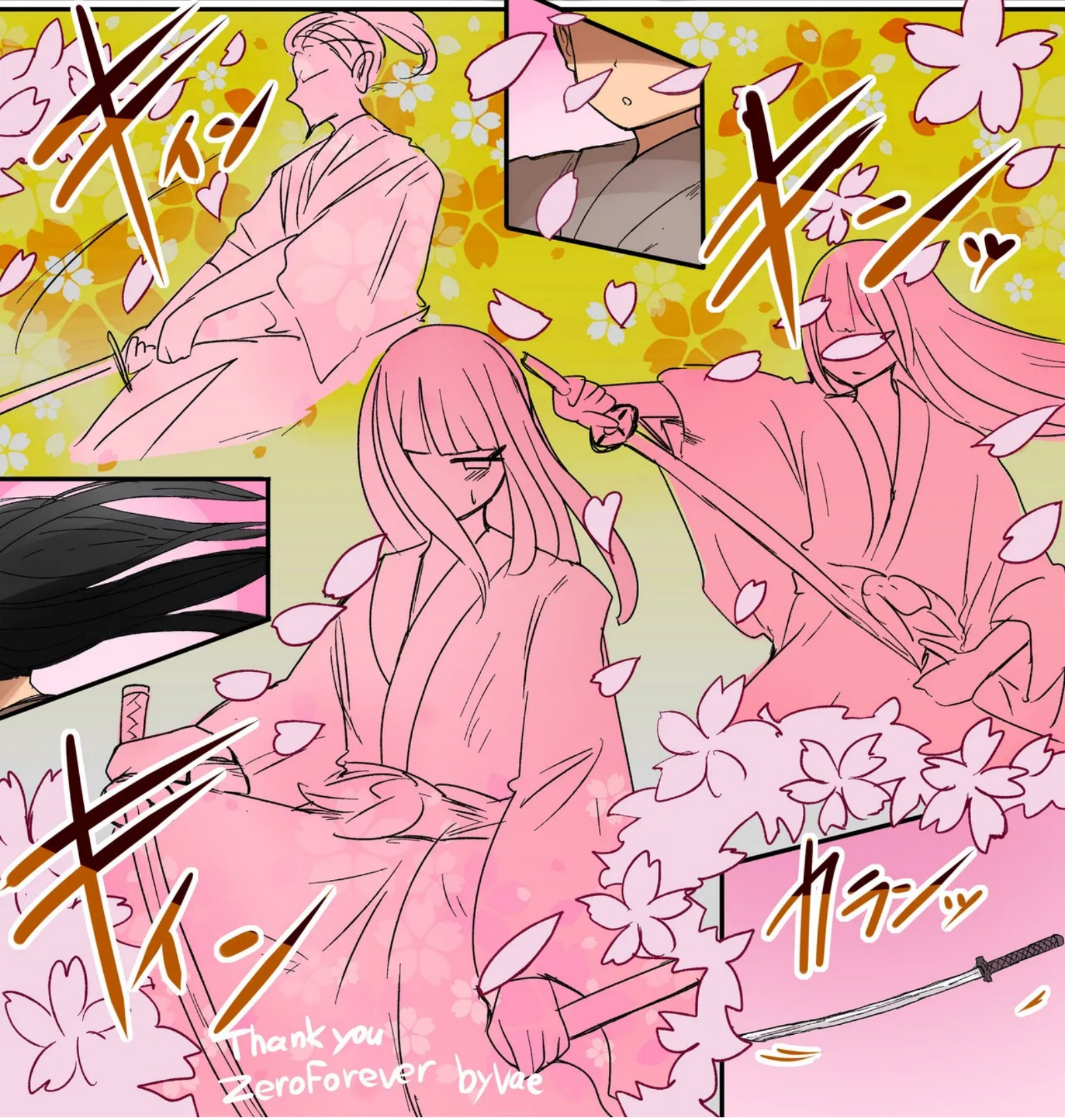
安心して
あなたも
すぐに仲間に
してあげる♡











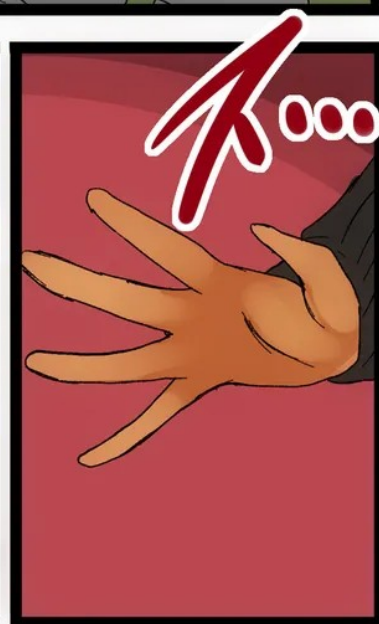
Thank you
ZeroForever byvae

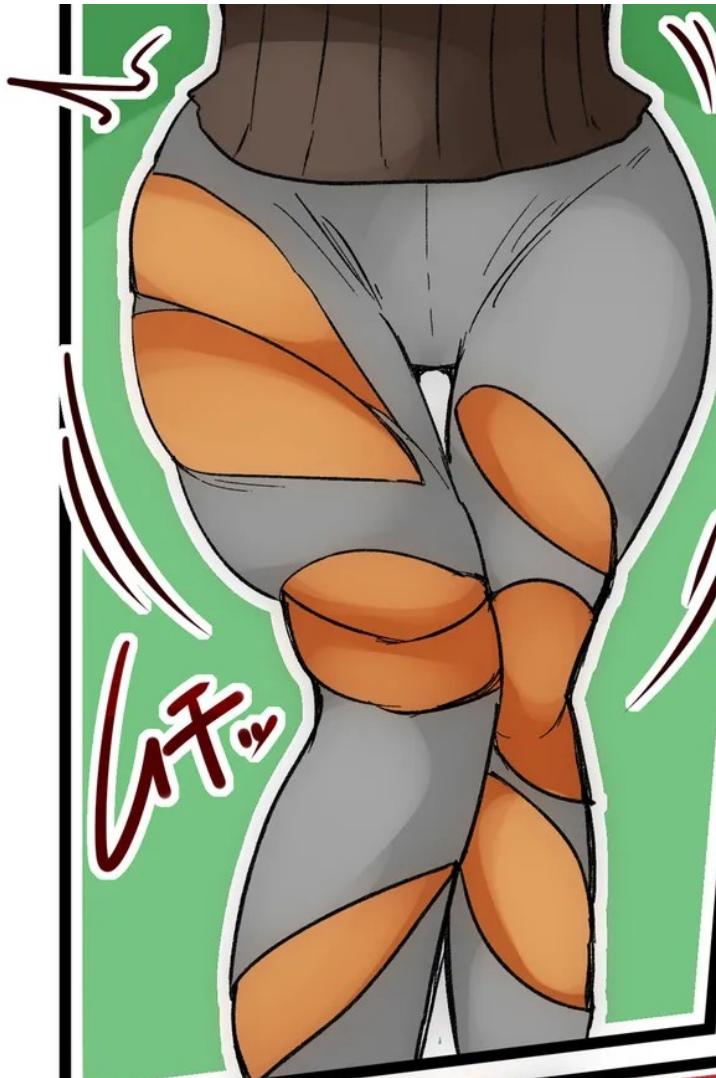


ヤマトナデシコ
サクラアルラウネ



E N D









うわ…
ほんとに
女になった…

まじかよ
きつしよ

フー…

えーんが
ちよ!

ふーん
エツ
チじゃん

まさか…
本当だとは

お…おい
大丈夫か!?

いてて…

ガッ

あ…

恋がはじまる予感☆

聞く話によれば…

女体化注意

この看板を建てたのは
この森の奥に住む
呪術師らしい

一線を超えてしまった
俺 木下と
いじめられっ子
玉置は

木下



玉置



森の奥の呪術師に
会いに行くか
迷っていた

でも…
その呪術師さんに
会えても…

男に戻るかは
わかんないでしょ？

はあ？
そんなんぶん殴って
戻させるに決まってるだろ

野蛮だよ
木下くんは
今女の子なんだよ

はあ〜？

ざっけんなよ
俺は男だ
行くぞノロマ

まっ-



だんだん
暗くなってきたね…
まだ昼だよな…

ドキ
ドキ

そもそもほんとに
いるのかな…
そんな人

ああ
うるせーな!

このまま帰る
わけにはいかねーだろ!

どうやって
説明すんだよ!
こんなこと

わかんないけど…

警察とかの人に
検証してもらえば
僕らが性転換したこと
わかってもらえるかも

そしたら
戻れないけど
女の子として
暮らしていけば…

それが
イヤだ!
つってんだよ!





って

おわっ...!!

.....!?

な...なんじゃ
こりや...

ぐっしり...

ばむん

胸が...

ゆさ

すご...
おっきい...

あ...木下くん
これ...!!

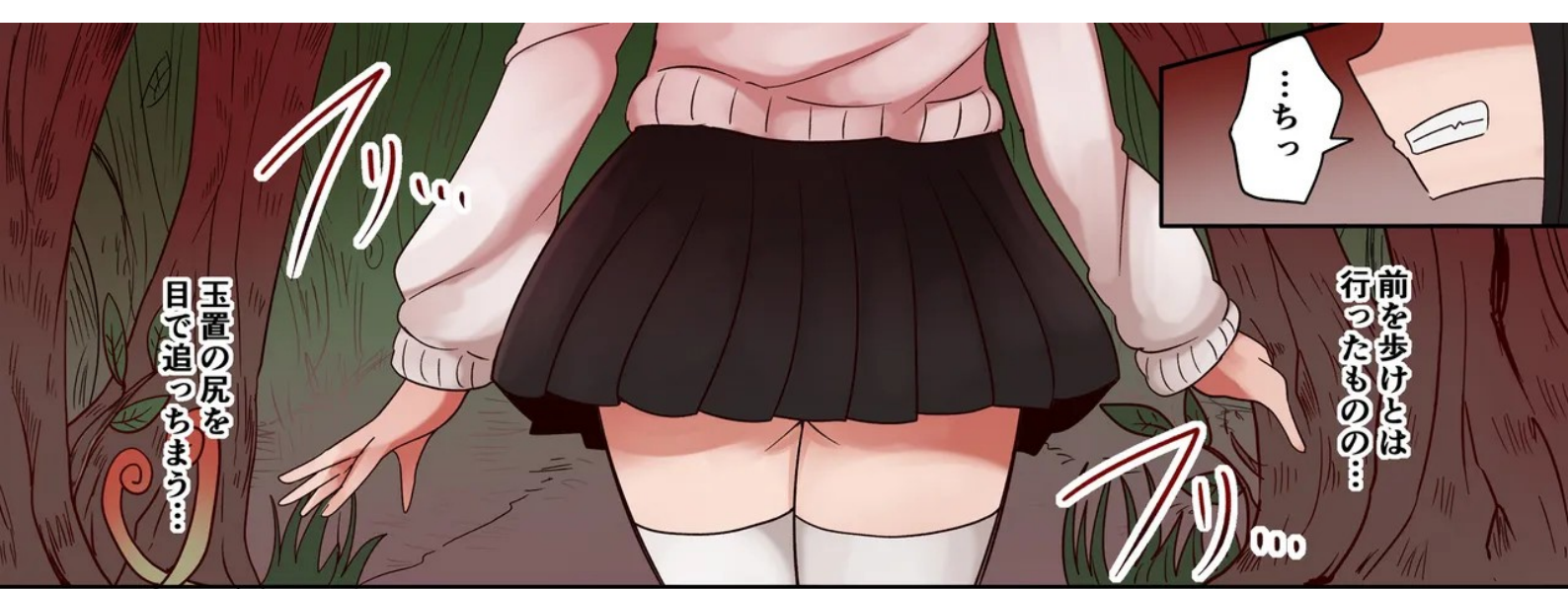
玉置!
てめえ
前歩けよ!!

ええ!?

なんだってんだよ!

爆乳化
注意!

はあああ...!?



前を歩けとは
行ったものの...

玉置の尻を
目で追っちゃう...



こんな短い
スカート
履きやがって...

こいつは元々
女顔だから
印象があんま
変わってないのに...

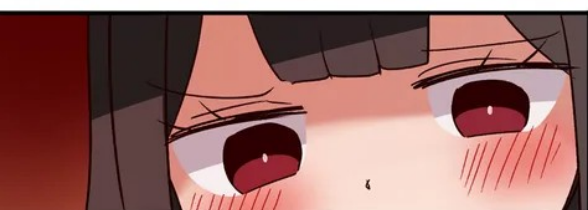
それでも
女を意識させる
服装、恰好
その姿に目を奪われる

パンツが見えないか
期待してる...
自分がイヤになる

こんな森の奥で
二人きり...
俺が男のままだったら
犯してるだろうな...



おい...
なんだよ...

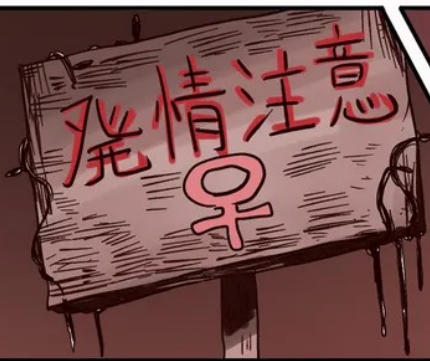


てか
胸が重い!

なんで俺だけ
こんな目に...

ざっけんな
マジで

てんっ♡

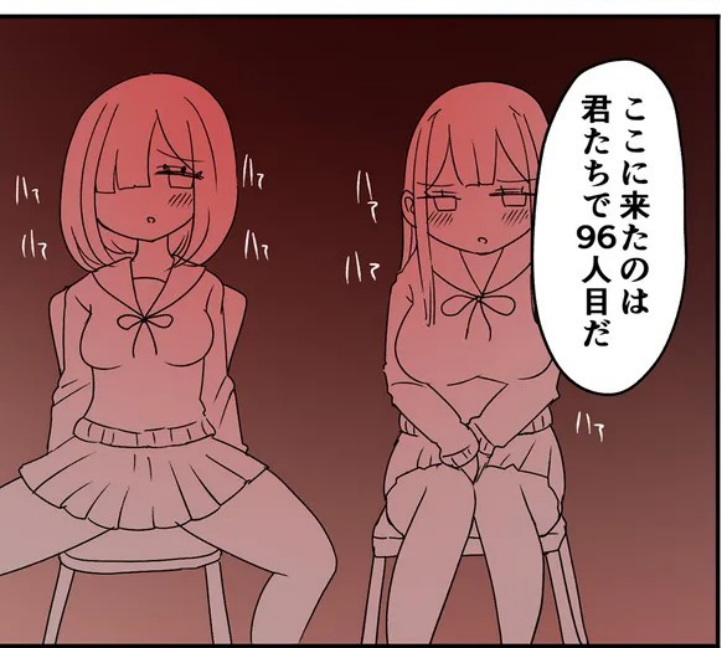




立て札を
読まなかったのか？

愚かだな…

ここは私の工房だ…
そして小さな集落でもある



ここに来たのは
君たちで96人目だ



アタマが
ぼーっとする…

ふふ…
カラダが疼いて
しょうがないだろう



乳首がピンと
張って痛い…

安心しろ
ふたなり化した
被験体をあてがって
やろう…

股からは…
汁が垂れ続けてる

そうすれば
発情は一時的に
収まる…

話はそれからだ

俺達は…
どうなる……？



おい!
こんな服しか
ねえのかよ!

馬鹿じゃねえのか!
痴女じゃねえか!

おまたが
じんじんする...

君はイキがいいな

それは
ただの下着だ

んんん



しかし痴女か...

一回きり女のセックスを
しただけで自分が女で
あることを認めたのかね

どうだったね
マンコにチンポを
ぶちこまれる感じは?

...っせーよ...

あの...
僕たちは
どうなるんですか

君たちの
元の体の傀儡を
死体に見立てて
森の外へ捨ててくる

君たちは事故で
死んだことになる

ここで
暮らしていきたまえ

もちろん女として…
だが

私の実験に参加すれば
賃金も与える

村の中には商店もある

望むなら
外からの買い物も
できるし

案外暮らしやすいよ

ただし

森からでるなら
君たちを本当に処分
しなければならぬ

これを機に
気を付けたまへ

女体化注意の札にはね

ドクン
ドクン
ドクン



干支じい

オーブの力を
解放して変身するのじゃ

そのオーブには
今年の干支の力が
秘められている



押忍!



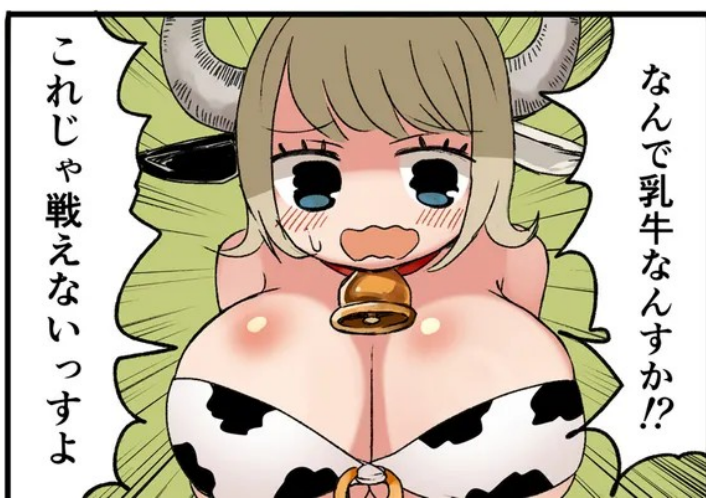
解放!

悪の猫軍団を
成敗するのじゃ!



わからん

あ...はい



なんで乳牛なんすか!?

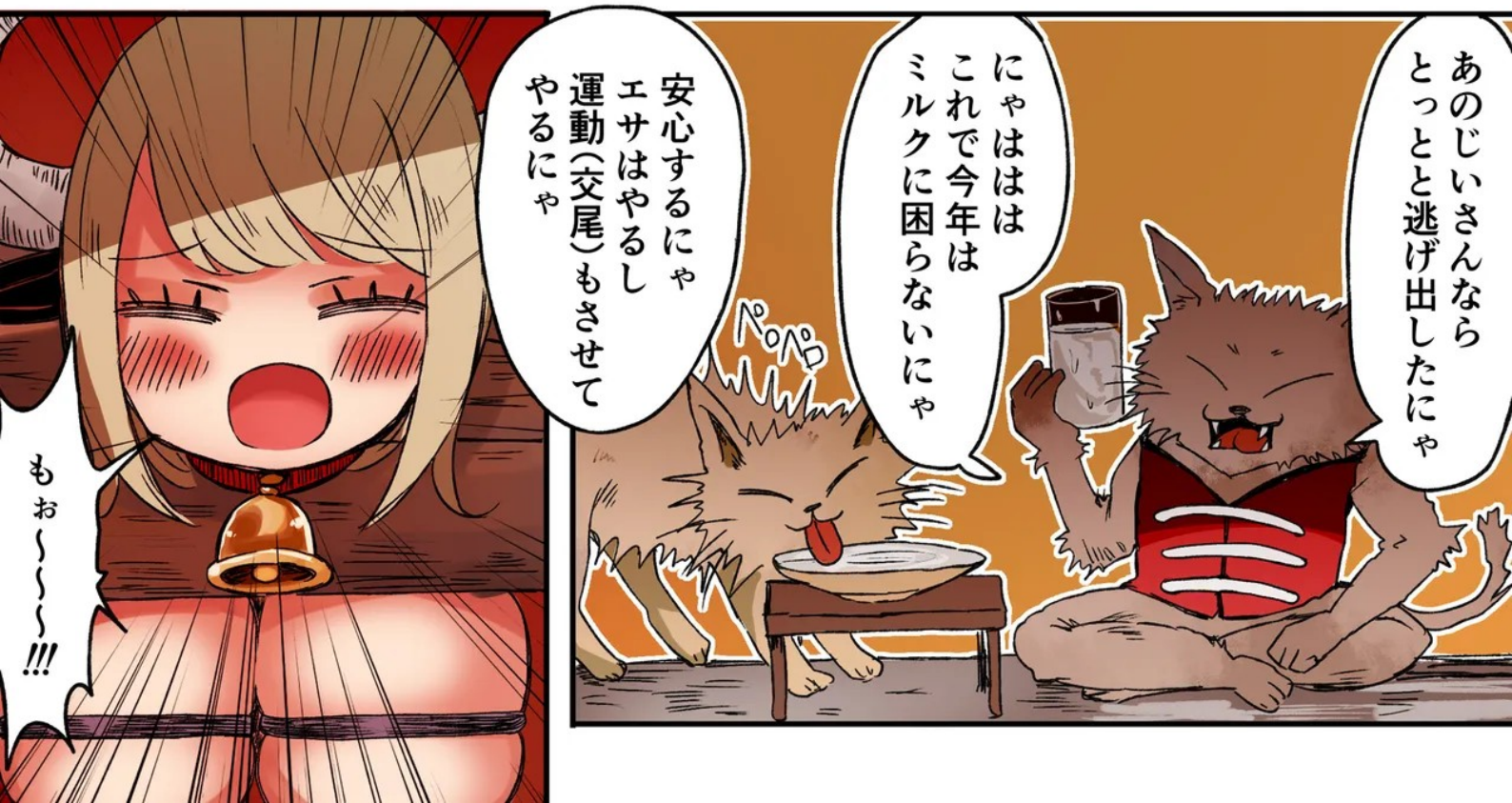
これじゃ戦えないっすよ



そうじゃの

師匠これ
乳牛っすよ!?





一週間後

気持ちええにやあ

ハアハア...
もうダメっす...

おまんこ
こわれちゃうっす...



おい...
次は俺に
ヤラせるにや

むっ...





初夏

師匠
オレ…いつ男に
戻れるんすかね

丑年が終われば
戻れるはずじゃ

あと半年は
このままって
ことっすか!?

この胸じゃ
生活しにくいっすよ!

カゅん

定期的に
搾乳しないと
いけないし

儂が吸ってやろう

それに
肩が凝って…

それも修行じゃ

むに♡

しかしお前
学校はどうした？

修行せんのなら
学業に励め

師匠…

わかってない
っすねえ…

パッ

制服が
ピッチピチなんすよ！

角と尻尾も
生えてるし！

ゴッ

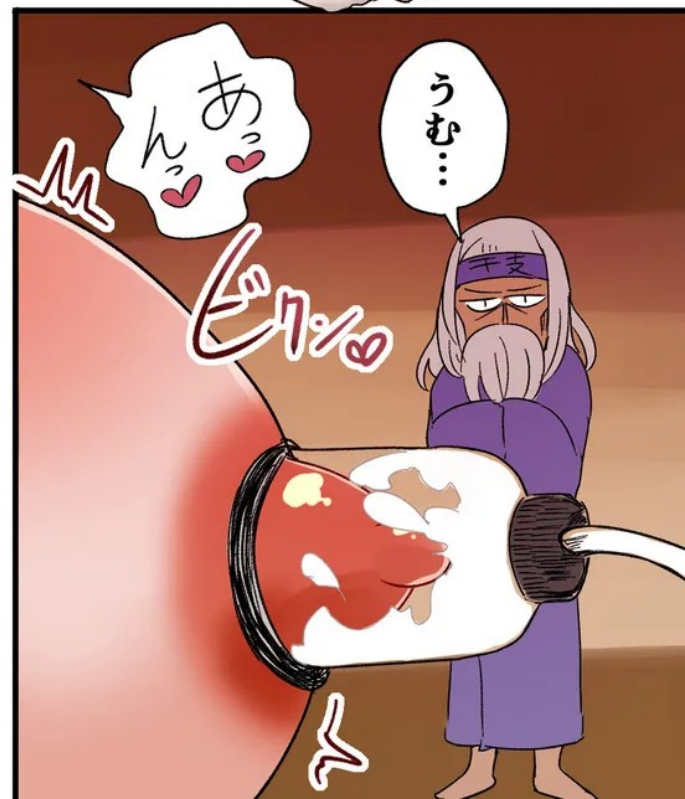
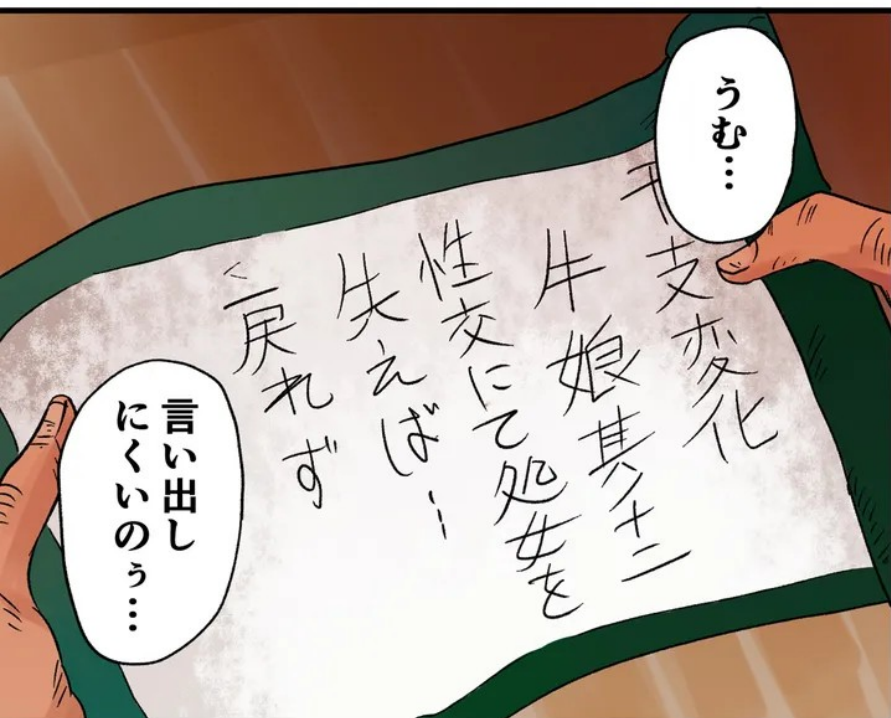
ああっ

ヒュッ

また搾乳
しなきゃ…

女子用の
制服買ったのか？

ゴッ





僕は寂しかった…

誰もこないこの神社で
悠久の時を過ごした

幼馴染のように
いっしょに遊び学び
過ごす者が欲しかった

だから小僧…

お主には僕の
幼馴染になってもらう

え…

なっ…

ッ…

ばゅんッ





私は狐巫女の狐狸子 こりこ

同じく狐巫女のお姉さまと一緒に
辺境の神社で暮らしています

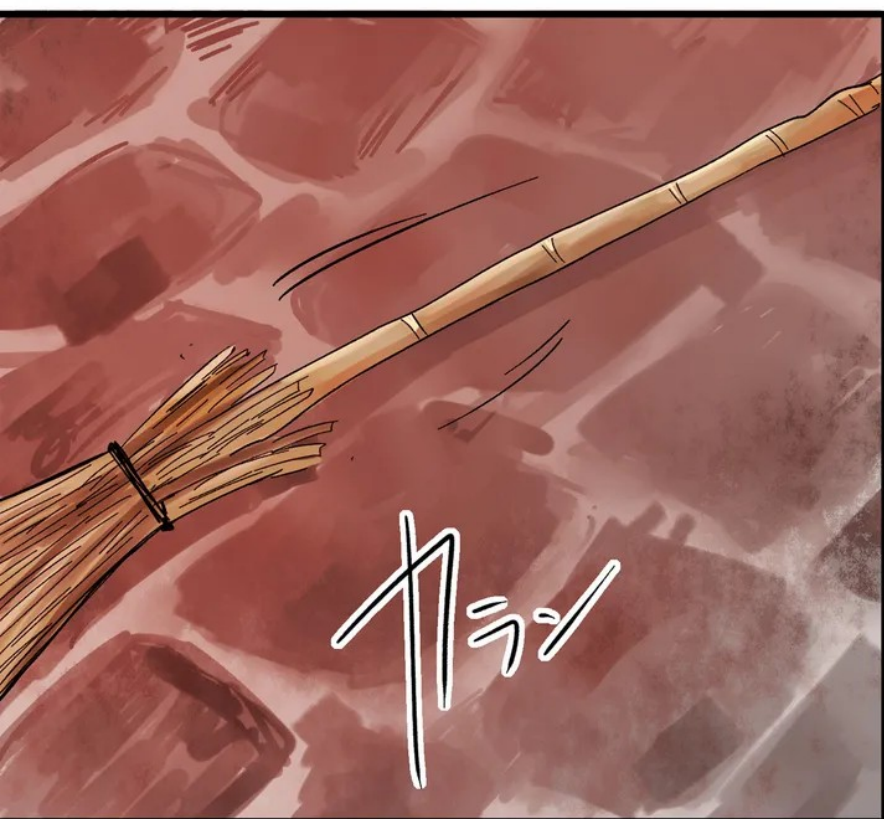
お姉さまとの生活は
穏やかで…

甘くとろける
日々ですわ

それは
とある時刻のことでした



う…
なんだか…
目がかすんで…



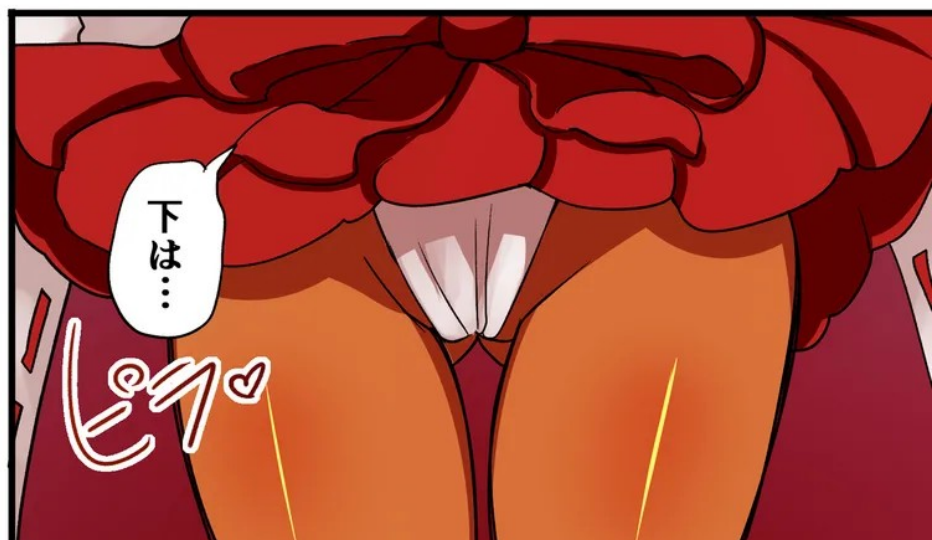
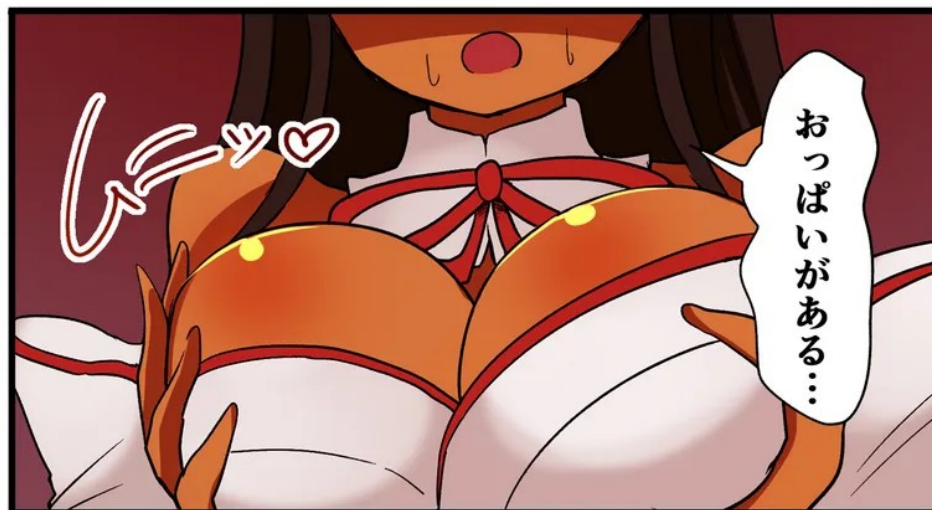
痛っ…



アタマが…



う…



僕は走った

胸や尻尾の
違和感で
上手く走れず
何度も転んだ

それでも
走った

でも…
それでも…

無限に続く
千本鳥居を抜け出す
ことすらできない

狐狸子よ

いや…人の子よ

もうだめ

そんなに急いで
どこへ行くのじゃ



ズズズ

お主は…

ズズ

おなご
女子で

狐で

巫女で

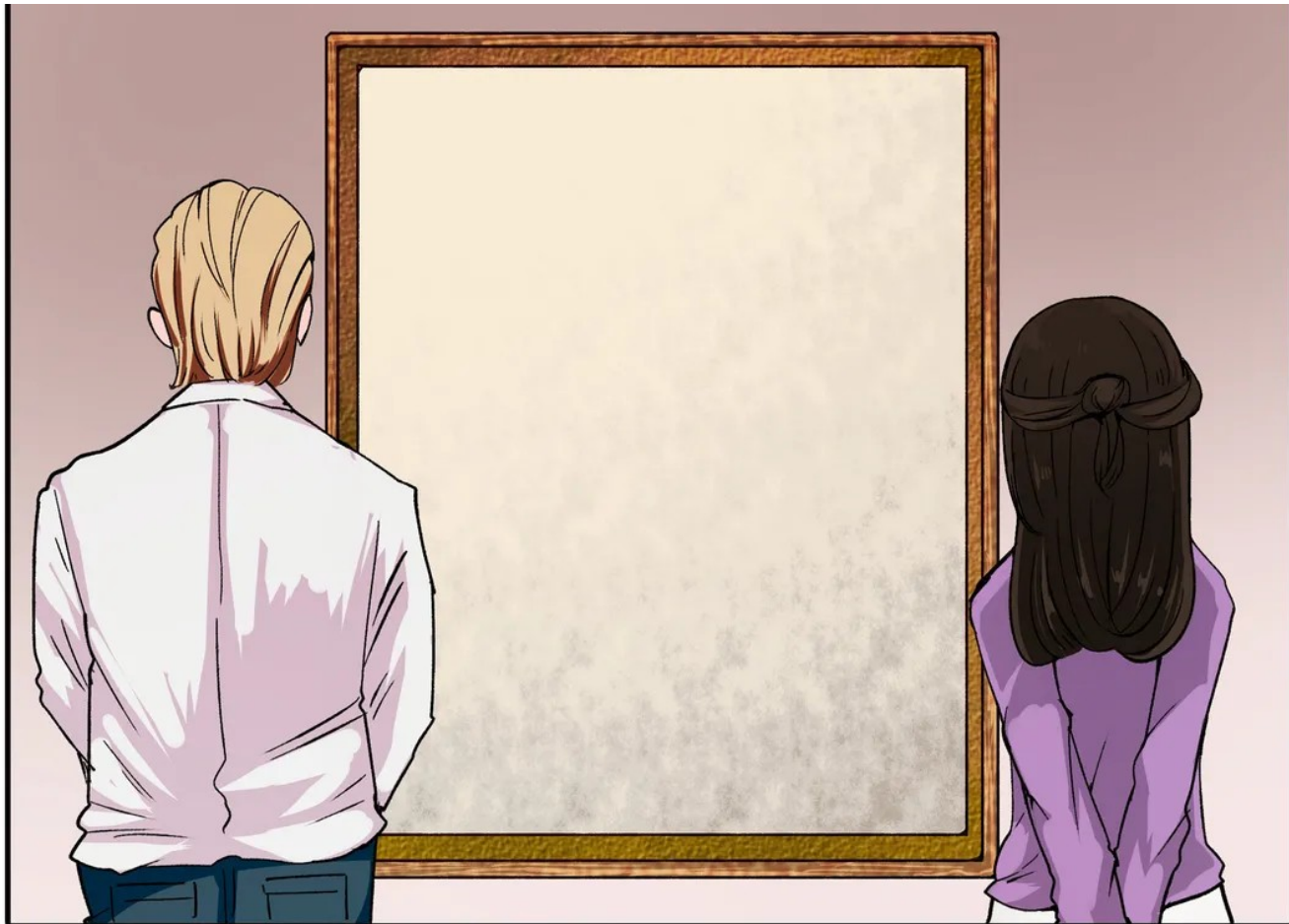
清純で

淫乱で

儂の可愛い妹じゃ

ゆめゆめ
忘れるでないぞ

ズズ



耶雲 百合子

この名を唱えた者は絵の被写体となる







オーマイガッ...

ガッ

ズ

ズ

ズ...

ズズ

ズ

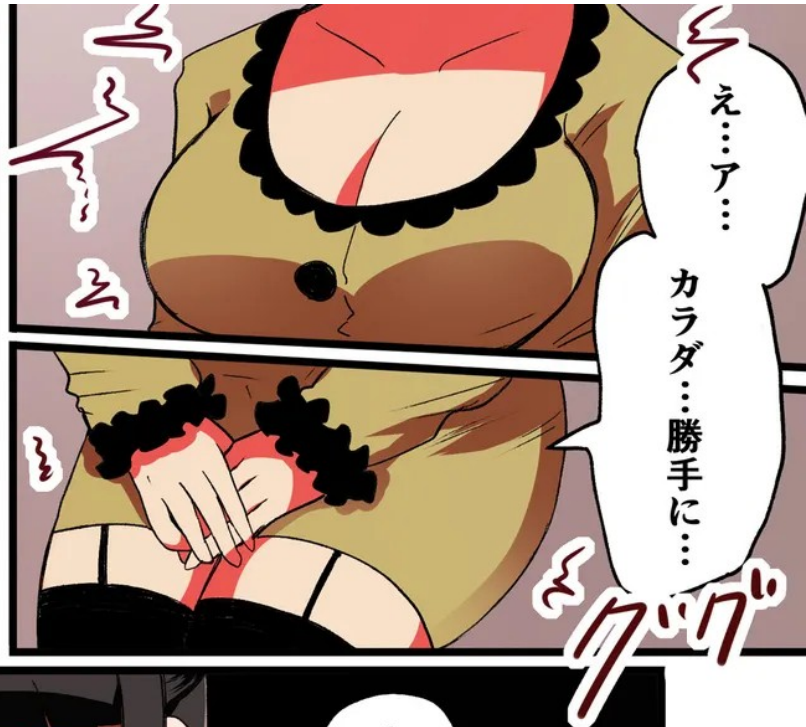
ズ

そんな...

イヤだ...

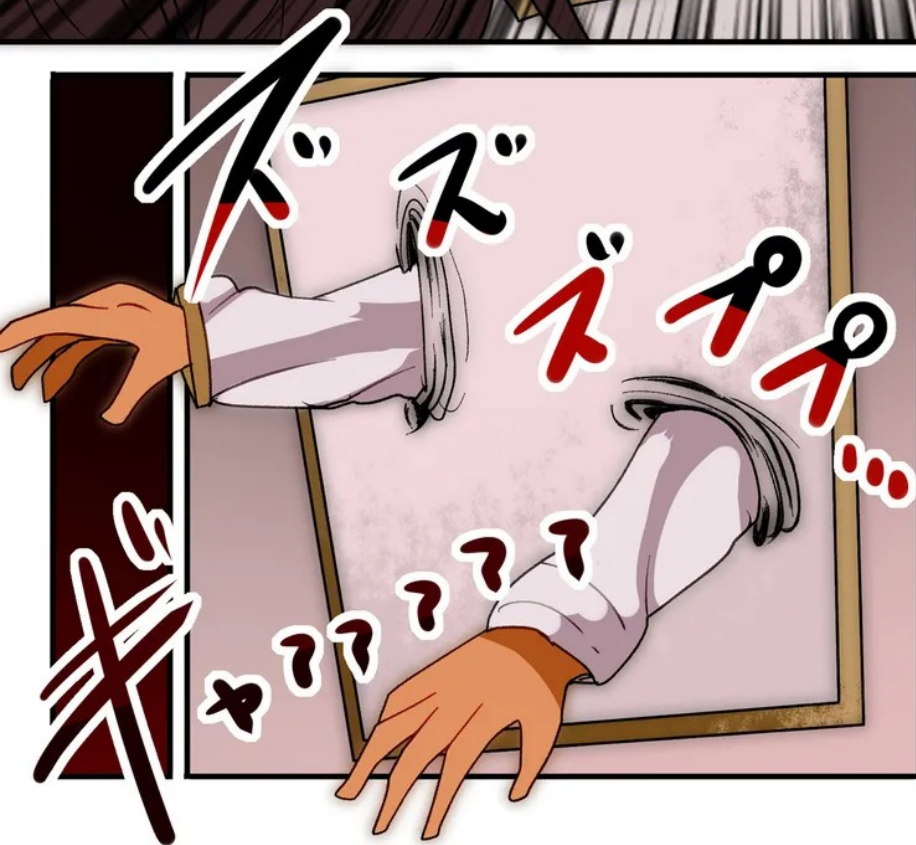
出してくれ!

ビッ











ぐ…
ここは…？

僕たちは
確か…

なんだこれ…!?
俺…女に…

胸が…
服も…変わって…

どうやら僕たちは
姿を変えられたようだ…

あの絵は
トラップだったのさ

ふさわしい姿に
なったわね

ふふ…
あなたたちは
絵の中にいるの

この絵に描かれた
美女として
生き続けるのよ

少女を倒すのは
忍びないが…

こいつは
魔物だ…
惑わされるな

あら…
私を退治する
つもり？

無理よ

ギヒヒ

ヒヒ

罰として
恥辱の芸術と
なりなさい

いっ…

う…
体が…勝手に…

ぐ…

やめ…

はっりっ

ギギ

ふふ…
次の冒険者が
来るまでの辛抱よ

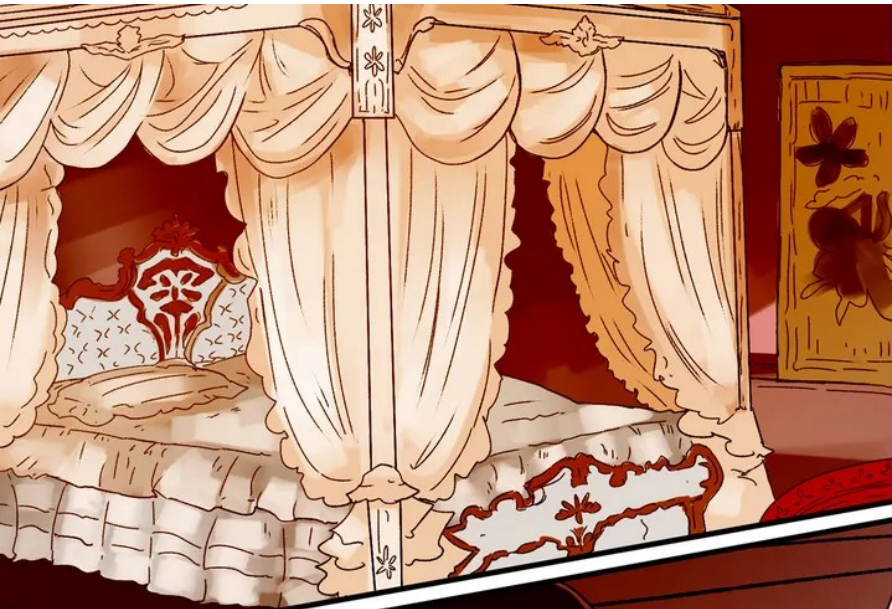


せいぜい
その痴態で
おびきよせなさいな

私は二百年待った
けどね…ふふふ

乱れる女たち

↑
う ん ん ……

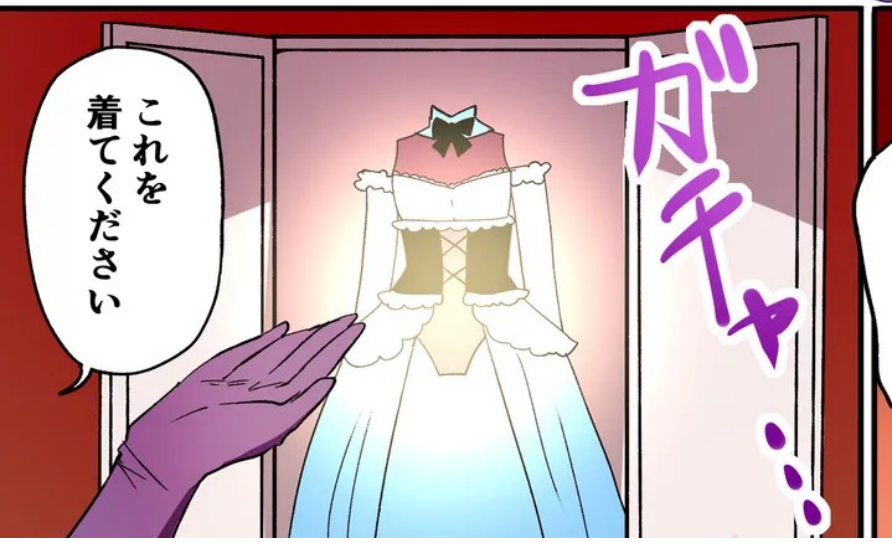


ドロテア女王様
大事な話とは



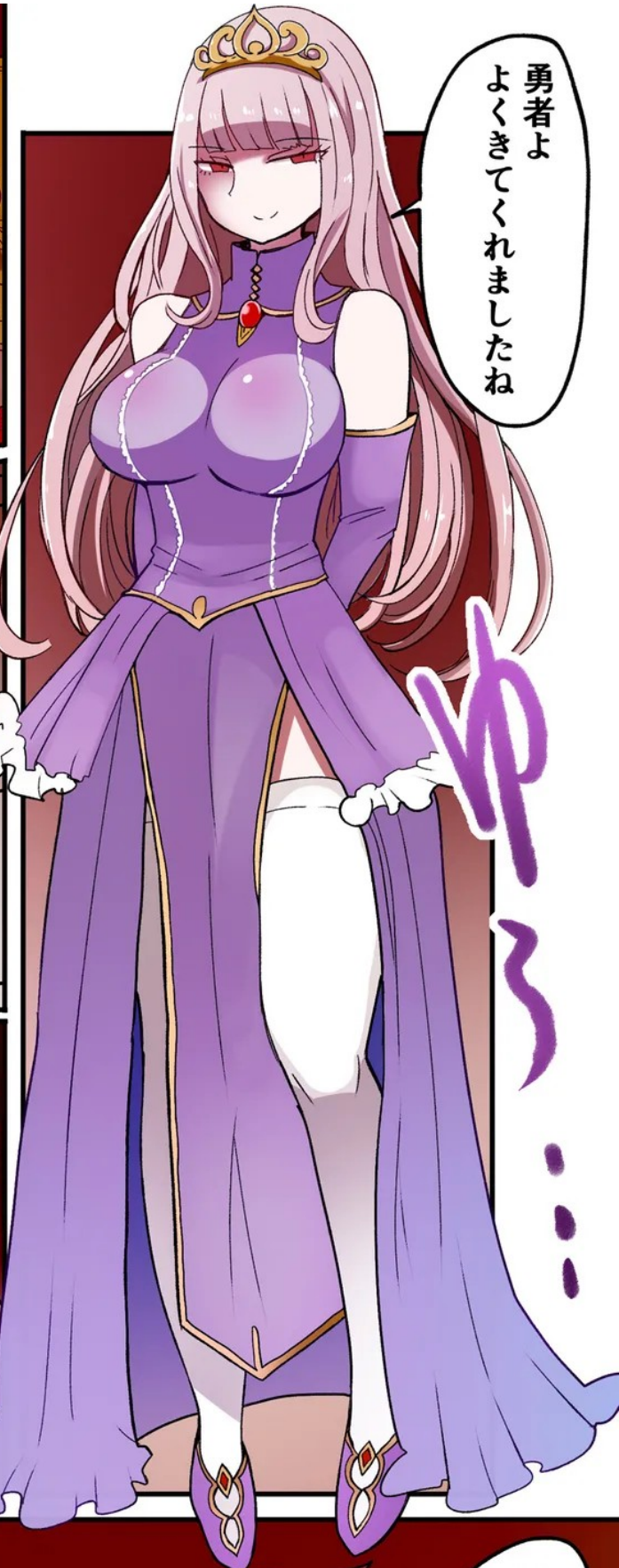
しかし私は…
おなご
女子しか愛せません

私はあなたを
信用しておる
あなたほど信用できる
人間はおりませぬ



これを
着てください

ガチャ…



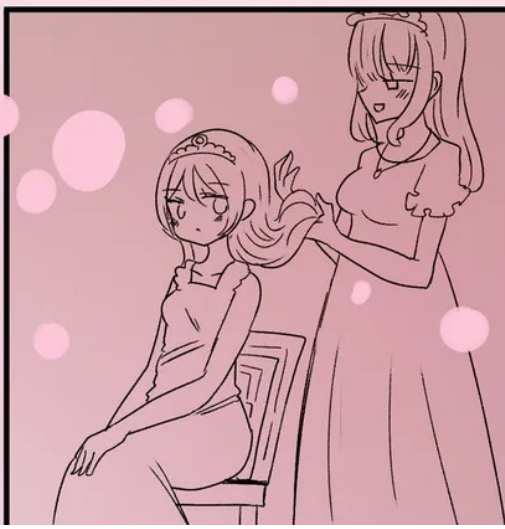
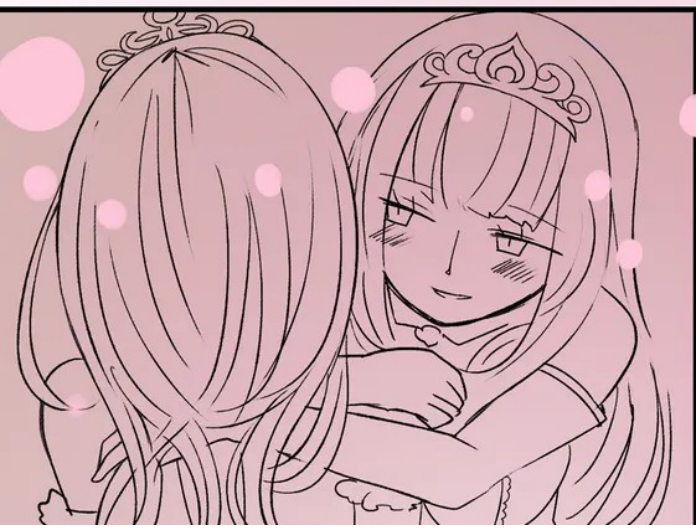
勇者よ
よくきてくれましたね

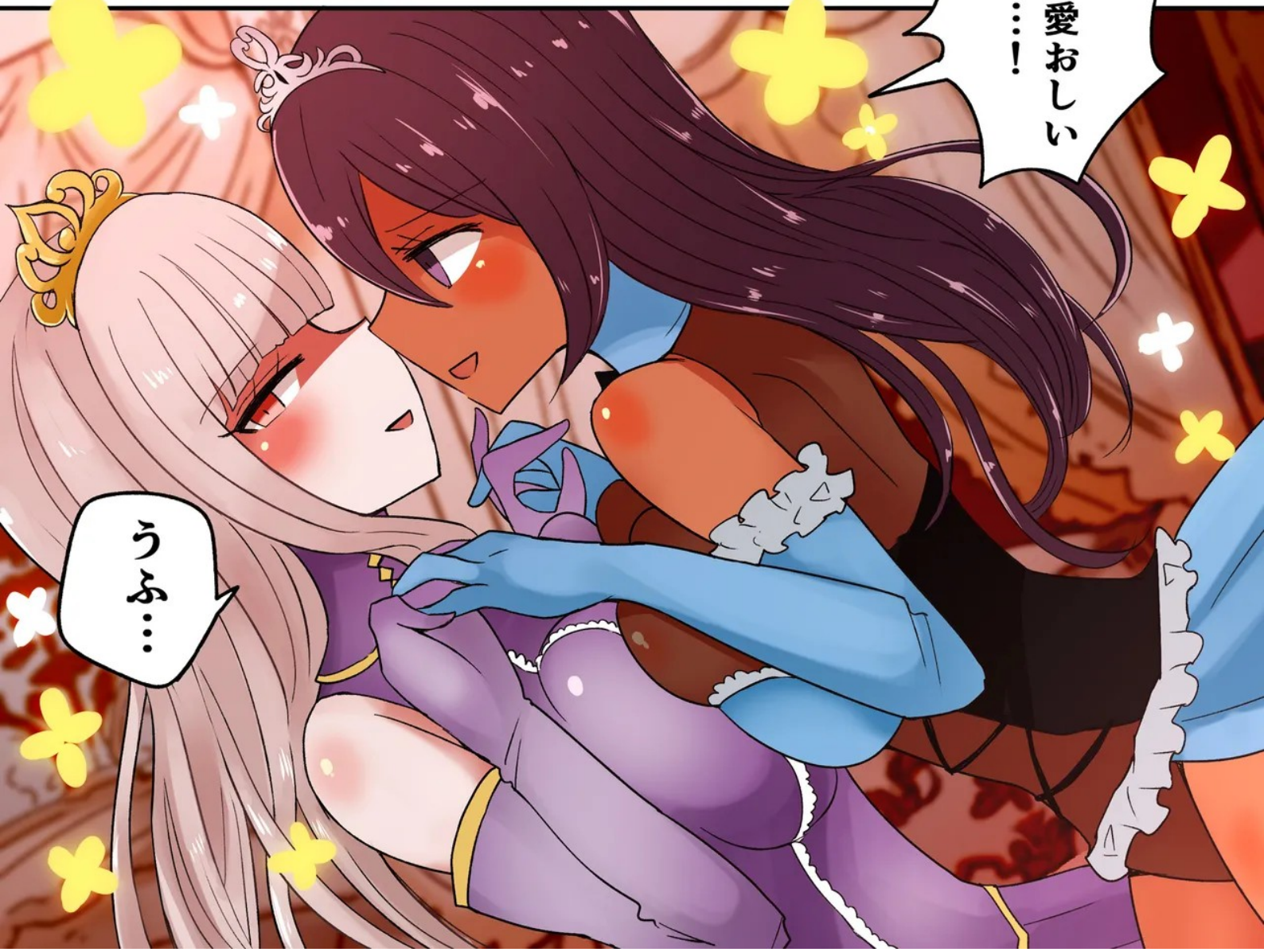


ええ…
どうすれば!!

勇者よ
変わってください









全身が熱いですわ…

はあはあ…
よかったですわ…

何言ってますの？
私はもともと
女でしょ

どうでした？
女の快感は…

ふふ
そうですね

これから毎日
愛し合いましょう



覚悟しろ…
ドラゴニユート…

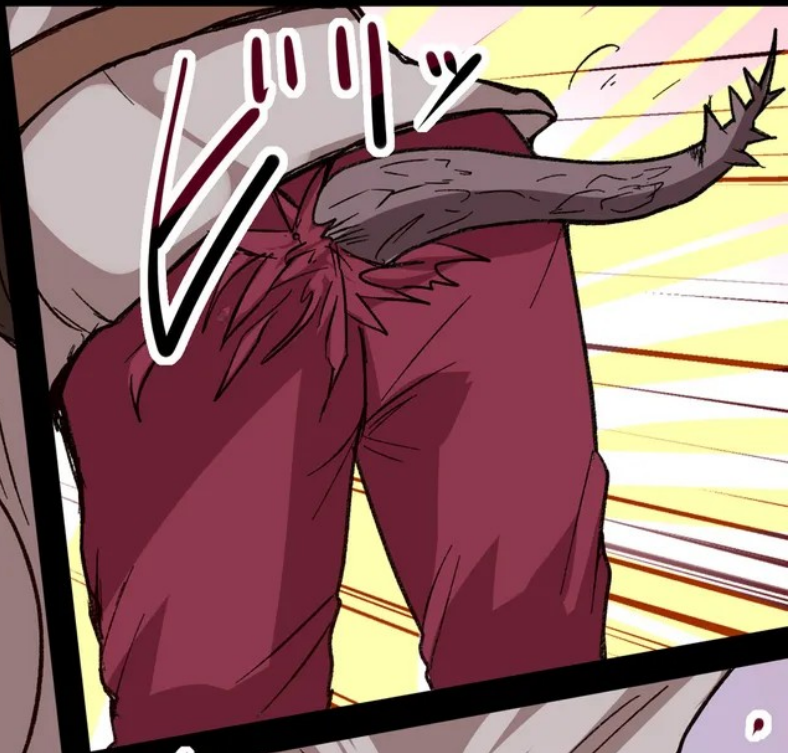
ふん…
勇者か…

貴様のような
小さい奴
妾に勝てると思
うな

うるさい！
切り伏せる！

他愛ないのう

くそっ…
はなせ！







お前は妾の
妹となるのじゃ

ふふふ...



わたしは...



そうだ...



あ...



ああ...
お姉さま...

大好きですわ



ここが：
巨大な竜女が
住まうという...



あら：
いらっしやい

小さな
人間さん ♡

山深くに棲む竜娘

多くの狩人が
その鱗や角を求め
挑んできた

多くの人間は
敗れ打ち捨てられていく

しかし
竜娘はときに
純粹な魔力を持った人間を
眷属に変えるという

男も女も
巨躯な竜の娘に
変えられてしまうらしい

数か月後

やめときな
帰ってきたやつは
いないって話だぜ

僕なら
できるさ...



ふふふん
もう終わりか？

僕の魔法が
効かない！

ハアハア…



お姉さま
この子良い魔力
ですわ

私
妹が欲しい



ほう…
ならば
こやつを変えるか

何を…ッ
やめろ！



アッ♡



あああッ





あ...ううあ
ああう...

ズズ
ズズ

ハッ
ハッ
ハッ

やッ
やッ

やだっ...

うわー

あっ
メガネ
踏んじやった

ズズ
ズズ



うふふ…

お姉さま以外と
キスするのは
はじめてですわ

!?

そうだった…

あれ…

アタシは
昔から…

ようこそ…
竜族の世界へ

今日から
貴様も我らの
姉妹じゃ



ふう
やはり温泉は
いいのう



魔力が
高まりますわ



ほれ...
お前もはいれ

遠慮は
いりませんわ

...



もしもし
そこのお兄さん







はじめて
女になったときは
びっくりしたが

朝には戻っていた

香水には
時間制限が
あるらしい

一吹き二時間ほど

使えば使うほど
その効果は
伸びていく

それから
夜は女になって
過ごすように
なった



女物の服を
買ってみましたり



ぽん!
女性だったんですね!
エッチすぎます! 😍
おっぱい大きい... ぽん!
自分関東ですけど
会えますか? DMします
乳首浮いてるよ~ 😎
ぽん!



SNSに自撮りを
上げてみたりもした

とある休日

女の姿で
出かけてみようと思
った

いつもより
だいぶ多めに
香水を吹きかけた

いつもより
体が火照ってたけど

新しい世界への
高揚感で気にならなかった

はじめて女としての
外出は最高だった

男からの視線

自分が
可愛い女の子として
街を歩いている実感

今思えば
香水の副作用で
発情していたのかもしれない



その夜
僕は女として
セックスをした

1 か月後

そのこの
お兄さん♡

え…?
はい…

一緒にお食事でも
どうですか?

そのあと…♡

いいこと
しましろう♡